

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	01	社会福祉総務費	事業 1	031	01030101
事業 2	080	介護保険事業特別会計繰出金	事業 3	001	介護保険事業特別会計繰出金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 介護保険事業の運営を図るための一般会計からの介護保険事業特別会計への繰出金。
- ・内容 介護給付費に対する法定負担分と保険料で賅うことができない事業費への繰り出しを行う。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を

(2) 効果・目標値

- ・効果 介護保険事業の円滑な運営を図ることができる
- ・目標値 特になし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 介護保険法第124条、介護保険の国庫負担金の算定等に関する政令等
- ・計画 第9期秦野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費 (進捗率) : 2,055,319千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 2,307,423千円
- ・令和8年度予算 事業費 (進捗率) : 2,286,499千円
- ・令和9年度以降 事業費 (進捗率) : 継続

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 介護保険の事業費に係る介護給付費及び事務費に対する、市から介護保険事業特別会計への繰出金
- ・令和7年度 介護保険の事業費に係る介護給付費及び事務費に対する、市から介護保険事業特別会計への繰出金

4 事業の自己評価 (目標値に対する効果の検証・課題・問題点等) [C]

介護保険の事業費に係る介護給付費について、実績に基づき見直しを行った結果、減額となった。

5 令和8年度の主な取組 (課題解決への取組等) [A]

介護保険の事業費に係る介護給付費及び事務費に対し、市の負担分を支出する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

介護保険の事業費に係る介護給付費の減額により、一般会計からの繰出金が減額。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	01	社会福祉総務費	事業 1	031	0 1 0 3 0 1 0 1
事業 2	080	介護保険事業特別会計繰出金	事業 3	001	介護保険事業特別会計繰出金

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

決算額 令和4年度 2,016,002千円
 令和5年度 2,015,869千円
 令和6年度 2,055,319千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

介護保険給付の適正化事業等、介護保険事業特別会計の歳出の伸びの抑制を図っていく。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	01030103
事業 2	010	老人ホーム入所措置費	事業 3	001	老人ホーム入所措置費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 高齢者等の療養環境を整え生命の保護を図る。
- ・内容 老人福祉法に基づき、在宅生活の継続が困難だが介護保険施設への入居ができない場合や高齢者虐待等により被保護者の生命保護が必要な状況など、やむを得ない場合に、市内に居住する65歳以上の対象者を特別養護老人ホーム等へ入所させる。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を

(2) 効果・目標値

- ・効果 高齢者の介護を社会全体で支え合い、在宅介護を担う家族の過度な負担を軽減し、高齢者虐待防止を推進する。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 老人福祉法、老人福祉法施行細則、秦野市社会福祉施設入所等の費用の徴収等に関する条例、秦野市社会福祉施設入所等の費用の徴収等に関する条例施行規則
- ・計画 第9期秦野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、総合計画（基本施策121 互いに尊重し共に支えあう地域づくりの推進）

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）: 363千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 673千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）: 673千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）: 継続

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 養護老人ホーム0名、やむを得ない措置1名
- ・令和7年度 養護老人ホーム0名、やむを得ない措置2名（令和7年9月末現在）

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

平成17年度から一般財源化されたことにより、新規で養護老人ホームの利用を希望する者については、介護保険施設等の利用を勧め、基本的には措置入所は行っていないが、高齢者虐待の相談件数は増加傾向にあり、やむを得ない措置を含め、措置入所を検討する機会は増えている。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	0 1 0 3 0 1 0 3
事業 2	010	老人ホーム入所措置費	事業 3	001	老人ホーム入所措置費

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

高齢者の増加に伴い、高齢者虐待の相談件数は増加傾向にあり、当制度を活用し、早期に対応し、高齢者の安全確保に努める。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由
該当なし

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

高齢者虐待防止を推進するため、関係機関と連携し、措置に関する手続きを迅速に行う。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし

(2) 自然災害対策への取組
該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	01030103
事業 2	020	見守りキーホルダー登録事業費	事業 3	001	見守りキーホルダー登録事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 高齢者の外出時の事故や徘徊により保護された際に緊急連絡先や身元確認が迅速にできるようにする。
- ・内容 見守りキーホルダーの交付
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりに

(2) 効果・目標値

- ・効果 見守りキーホルダー交付者は警察・消防・関係機関に登録され、高齢者が緊急搬送や徘徊によって保護された場合に、速やかに登録先の親族等に連絡がとれる。
- ・目標値 見守りキーホルダー交付者6,500人

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市見守りキーホルダー事業実施要綱
- ・計画 第9期秦野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費(進捗率) : 633千円 実施状況 : 4,551人交付実績
- ・令和7年度予算 事業費(進捗率) : 742千円 実施状況 : 5,500人交付見込み
- ・令和8年度予算 事業費(進捗率) : 795千円 実施状況 : 6,500人交付見込み
- ・令和9年度以降 事業費(進捗率) : 継続

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 地域高齢者支援センターを通し対象者に見守りキーホルダーを交付
- ・令和7年度 地域高齢者支援センターを通し対象者に見守りキーホルダーを交付

4 事業の自己評価(目標値に対する効果の検証・課題・問題点等)[C]

見守りキーホルダー周知についてさらに周知する必要がある。

5 令和8年度の実施内容(課題解決への取組等)[A]

地域高齢者支援センターと連携し、周知活動を行う。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

登録者数の増加及びキーホルダーの単価上昇に伴う増額。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	01030103
事業 2	020	見守りキーホルダー登録事業費	事業 3	001	見守りキーホルダー登録事業費

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
令和6年度実績4,551個、令和7年度見込み数5,500個、令和8年度見込み数6,500個

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
高齢者人口が増加する中、緊急搬送や徘徊により保護される者の増加が見込まれるため、チラシ等で周知する。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	01030103
事業 2	030	老人クラブ活動費補助金	事業 3	001	老人クラブ連合会補助金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 高齢者が住み慣れた地域で、健康で生きがいを持って生活していくことができるよう、老人クラブの新しい魅力づくりを行う。
- ・内容 秦野市老人クラブ連合会に対し、補助金を交付する。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 老人クラブ連合会の活動を補助することにより、生きがい活動等で大きな役割を果たす単位老人クラブの連絡調整だけでなく、リーダー育成や、会員数拡大の促進などの役割を果たすことができる。
- ・目標値 老人クラブ数34クラブ、会員数1,950人

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 老人福祉法第13条第2項、秦野市老人クラブ連合会運営費補助金交付要綱
- ・計画 第9期秦野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）: 911千円
老人クラブ数36クラブ 会員数2,097人
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 912千円
老人クラブ数34クラブ 会員数1,912人
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）: 897千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）: 継続

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 秦野市老人クラブ連合会に対し、補助金を交付
- ・令和7年度 秦野市老人クラブ連合会に対し、補助金を交付

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

老人クラブ連合会に属する単位老人クラブが減っているため、老人クラブ新規設立促進の支援をしていく。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

老人クラブの新規設立促進のため、老人クラブ事務局と連携し、周知活動の支援を行う。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	01030103
事業 2	030	老人クラブ活動費補助金	事業 3	001	老人クラブ連合会補助金

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

老人クラブ会員総数に応じ、減額。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和6年度会員数 2,097人

令和7年度会員数 1,912人

令和8年度目標会員数 1,950人

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

高齢者人口が増加する中、高齢者の生きがいづくりや、健康増進に老人クラブの活動はますます重要な役割となっており、会員加入促進のため事務局と連携し、周知活動の支援をしていく。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	0 1 0 3 0 1 0 3
事業 2	030	老人クラブ活動費補助金	事業 3	002	単位老人クラブ補助金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 高齢者の生きがいと健康増進のため、多様な社会活動を通じ、老後の生活を豊かなものにするとともに、明るい長寿社会形成に資することを目的に組織された老人クラブに補助金を交付することにより、目的達成の推進を図る。
- ・内容 単位老人クラブに対し、補助金を交付する。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を

(2) 効果・目標値

- ・効果 生きがいづくり及び健康増進
- ・目標値 老人クラブ数34クラブ、会員数1,950人

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 老人福祉法第13条第2項、秦野市単位老人クラブ運営費補助金交付要綱
- ・計画 第9期秦野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 2,095千円
老人クラブ数36クラブ 会員数2,097人
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 2,120千円
老人クラブ数34クラブ 会員数1,912人
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 1,970千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 継続

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 単位老人クラブに対し、補助金を交付
- ・令和7年度 単位老人クラブに対し、補助金を交付

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

今後も事業を継続していくべきだが、老人クラブ数及び会員数は減少の傾向にある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

老人クラブの新規設立促進のため、秦野市老人クラブ連合会事務局と連携し、周知活動を行う。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	01030103
事業 2	030	老人クラブ活動費補助金	事業 3	002	単位老人クラブ補助金

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

老人クラブ会員数に応じ、減額。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和6年度会員数 2,097人

令和7年度会員数 1,912人

令和8年度目標会員数 1,950人

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

高齢者人口が増加する中、高齢者の生きがいつくりや、健康増進に老人クラブの活動はますます重要な役割となっており、会員加入促進のため秦野市老人クラブ連合会事務局と連携し、周知活動を行う。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	0 1 0 3 0 1 0 3
事業 2	040	シルバー人材センター運営費補助金	事業 3	001	シルバー人材センター運営費補助金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・ 目 的 シルバー人材センターの運営を支援することで、働く意欲があり、心身ともに健康な高齢者がその経験・能力を生かし、地域社会への参加を通して生きがいを見い出せる場を確保する。
- ・ 内 容 高齢者の生きがい推進と地域福祉の向上を図ることを目的としたシルバー人材センターの運営に対して補助金を交付する。
- ・ SDGs 3 すべての人に健康と福祉を

(2) 効果・目標値

- ・ 効 果 シルバー人材センターに必要な支援を行う事により、高齢者の福祉の増進に寄与する。
- ・ 目 標 値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・ 根拠法令 公益社団法人秦野市シルバー人材センター運営費補助金交付要綱
- ・ 計 画 第9期秦野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

2 全体計画[P]

- ・ 全体計画 事業費 :
- ・ 令和6年度決算 事業費 (進捗率) : 14,713千円
- ・ 令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 14,490千円
- ・ 令和8年度予算 事業費 (進捗率) : 13,903千円
- ・ 令和9年度以降 事業費 (進捗率) : 継続

3 令和6年度・令和7年度の実行内容[D]

- ・ 令和6年度 事業継続の安定性を維持するため、補助金を交付
- ・ 令和7年度 事業継続の安定性を維持するため、補助金を交付

4 事業の自己評価(目標値に対する効果の検証・課題・問題点等)[C]

毎月の事業報告等により会員数や受注数等の状況を把握しながらシルバー人材センターの運営の効率化及び自主財源の確保を促し、今後も適正な補助額の設定のため補助対象経費(賃借料・人件費・事業費)についての詳細な説明を求める。

5 令和8年度の実行内容(課題解決への実行等)[A]

補助の継続を行うことで、高齢者の就業機会等の拡大を図る。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	01030103
事業 2	040	シルバー人材センター運営費補助金	事業 3	001	シルバー人材センター運営費補助金

(1) 増減理由

事業継続と安定性の維持のため、令和6年度から引き続き環境整備分を計上したが、見積りに基づき減額とした。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・ 令和6年度環境整備分 草刈機整備 810千円
- ・ 令和7年度環境整備分 熱中症対策 587千円
- （参考）
- ・ 経常収益 令和6年度：379,547千円 令和5年度：374,156千円 令和4年度：364,894千円
- ・ 経常費用 令和6年度：369,972千円 令和5年度：357,945千円 令和4年度：350,761千円
- ・ 会員数 令和6年度：771人 令和5年度：739人 令和4年度：733人

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

運営の効率化及び、自主財源の確保を促進する。

介護保険の総合事業に参入し、地域介護の担い手となっていることや、高齢者の生きがいや社会参加、雇用機会確保など高齢者施策に必要な事業を行っていることから、今後の事業継続と安定性の維持のためにも引き続き支援を行う。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	0 1 0 3 0 1 0 3
事業 2	050	敬老事業費	事業 3	001	敬老事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 社会の進展に寄与してきた高齢者を敬愛し、高齢者が自らの生活向上に努める意欲を増進する。
- ・内容 地域の高齢者への関心を高めることを目的に、敬老祝金品贈呈事業及び地域敬老事業の開催を行う。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を

(2) 効果・目標値

- ・効果 地域との交流を図り、社会活動への参加、高齢者の生きがいや健康づくりを促進する。
- ・目標値 令和8年度敬老事業参加者数 18,000人

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 老人福祉法第5条、秦野市地域敬老会運営費交付金交付要綱、秦野市敬老祝金品及び長寿夫妻記念品贈呈要綱
- ・計画 第9期秦野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：16,874千円（実施状況：敬老会対象者 27,514人）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：19,332千円（実施状況：敬老会対象者 28,910人）
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：18,952千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）：継続

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

・令和6年度

- 地域敬老会 各地区社協ごとに、敬老会の開催又は祝品を配付
敬老会対象者数 27,514人 合計交付額 11,193千円
- 敬老祝金贈呈 88歳（5,000円）768人（振込）、100歳（30,000円）43人（市職員または市長による訪問）
- 敬老祝品贈呈 101歳以上（1,870円の干支の置物）67人（郵送）
長寿夫婦（3,080円のフォトフレーム）42組（郵送）
※ともに秦野産木材を使った木工品

・令和7年度

- 地域敬老会 各地区社協ごとに、敬老会の開催又は祝品を配付
敬老会対象者数 28,910人 合計交付額 11,994千円
- 敬老祝金贈呈 88歳（5,000円）894人（振込）、100歳（30,000円）52人（市職員または市長による訪問）
- 敬老祝品贈呈 101歳以上（1,870円の干支の置物）63人（郵送）

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	0 1 0 3 0 1 0 3
事業 2	050	敬老事業費	事業 3	001	敬老事業費

長寿夫婦（3,080円のフォトフレーム）51組（郵送）
※ともに秦野産木材を使った木工品

- 4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]
地域敬老事業、敬老祝金品について、高齢者の増加に伴い年々対象者が増えているため、財政負担も増加している。
令和7年度に、敬老事業懇話会を開催し、長寿夫婦への祝品（3,080円のフォトフレーム）を廃止することとした。
- 5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]
引き続き地域社会福祉協議会への敬老会運営費交付、対象者への敬老祝金品贈呈を行う。
- 6 要求額の増減理由・根拠[A]
 - (1) 増減理由
長寿夫婦への祝品の贈呈の廃止等により減額。
 - (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
3のとおり
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
今後も地域福祉の中心的役割を担う、地区社会福祉協議会を主体とし、より多くの対象者が敬老会に参加し、生きがい、健康づくりのきっかけとなるよう周知活動を行う。
また、他市の取組を研究し、対象者の条件や贈呈内容の見直しを検討する。
- 8 その他
 - (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
 - (2) 自然災害対策への取組
該当なし
 - (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月18日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	0 1 0 3 0 1 0 3
事業 2	060	老人いこいの家管理運営費	事業 3	001	老人いこいの家管理運営費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 高齢者の教養の向上並びに健康及び福祉の増進に役立てるとともに介護予防、生きがいつくりの活動を支援する。
- ・内容 老人いこいの家の管理運営委員会に指定管理料を支出する。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を

(2) 効果・目標値

- ・効果 高齢者の健康と生きがいつくりにつながる。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 老人いこいの家条例及び同条例施行規則
- ・計画 第9期秦野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、公共施設再配置計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費 (進捗率) : 9,559千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 5,009千円
- ・令和8年度予算 事業費 (進捗率) : 2,358千円
- ・令和9年度以降 事業費 (進捗率) : 継続

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度・施設の老朽化に伴う修繕箇所や不具合など、修繕に対応。
 - ・地域への移譲について、各老人いこいの家管理運営委員会に出向き、説明。自治会等と意見交換を行う。
 - ・外部評価を実施する。
- ・令和7年度・全荘照明LED更新工事を実施する。
 - ・外部評価を実施する。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

施設の老朽化に伴う修繕箇所や不具合などが多く出てきているため、計画的な修繕が求められる。

5 令和8年度の実施内容（課題解決への取組等）[A]

指定管理料を交付することで、介護予防、生きがいつくりの拠点としての老人いこいの家の運営を支援する。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月18日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	01030103
事業 2	060	老人いこいの家管理運営費	事業 3	001	老人いこいの家管理運営費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

全荘照明LED更新工事が完了したことにより、工事請負費が減額となったため。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和5年度かわじ荘浄化槽設備更新工事 予算計上額 3,900千円

令和6年度あずま荘修繕工事 予算計上額 7,969千円

令和7年度各荘照明LED化工事 予算計上額 2,497千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

既存建物の法定耐用年数が迫る中、施設の継続使用に向けて建物や備品などの修繕を行う。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	01030103
事業 2	070	末広ふれあいセンター管理運営費	事業 3	001	末広ふれあいセンター管理運営費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 高齢者の健康増進、教養の向上、生きがいづくり活動及び児童との世代間交流を深めること。
- ・内容 介護予防の実施拠点として、高齢者の健康増進及び教養の向上を図る事業、ミニデイサービス及び世代間交流事業、住民主体型通所サービスを展開。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 介護予防の拠点として、各種事業を実施することで、高齢者の健康増進や多世代交流の促進が図られる。
令和6年度 部屋延べ利用人数 13,870人 健康器具等延べ利用人数 8,300人
- ・目標値 令和7年度 部屋利用延べ人数 17,000人

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市末広ふれあいセンター条例、秦野市末広ふれあいセンター条例施行規則
- ・計画 第9期秦野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、公共施設再配置計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）: 14,464千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 4,862千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）: 5,716千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）: 継続

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 地域のボランティア団体による高齢者向けのミニデイサービス、通所型のデイサービスを実施
- ・令和7年度 地域のボランティア団体による高齢者向けのミニデイサービス、通所型のデイサービスを実施

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

末広ふれあいセンターは開設から令和8年で23年が経過しているため、老朽化による設備の不具合や故障が発生している。継続的に修繕や設備の交換を実施し、利用者が安全・安心して活動できるよう管理運営する。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	01030103
事業 2	070	末広ふれあいセンター管理運営費	事業 3	001	末広ふれあいセンター管理運営費

高齢者の介護予防に資するミニデイサービス及び住民主体型サービスの継続実施。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

老朽化による設備の不具合に対応するための修繕費の増額。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和5年度 修繕費 485千円

令和6年度 修繕費 205千円

令和7年度 修繕費予算 196千円

令和8年度 修繕費予算 1,073千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

高齢者の健康増進、介護予防、教養の向上、生きがいきり活動及び児童との世代間の交流を深めるための施設として運営する。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	01030103
事業 2	080	広畑ふれあいプラザ管理運営費	事業 3	001	広畑ふれあいプラザ管理運営費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 高齢者の生きがいがづくり及び健康の増進並びに教養の向上を図るための事業を積極的に展開し、介護が必要となる状態を予防することにより、福祉の増進を図る。
- ・内容 高齢者の介護予防拠点施設として、生きがいがづくり事業、健康増進事業及び世代間交流事業を実施するための施設の管理及び運営。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を

(2) 効果・目標値

- ・効果 生きがいがづくり事業、健康増進事業及び世代間交流事業の充実
- ・目標値 令和8年度延利用者数 70,000人

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市広畑ふれあいプラザ条例及び条例施行規則
- ・計画 第9期秦野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、公共施設再配置計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）: 28,513千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 17,650千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）: 15,912千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）: 継続

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 広畑ふれあいプラザの施設の維持管理及び運営
いきがい型デイサービス事業、介護予防事業、広畑ふれあい塾、高齢者の健康増進事業への支援
- ・令和7年度 広畑ふれあいプラザの施設の維持管理及び運営
いきがい型デイサービス事業、介護予防事業、広畑ふれあい塾、高齢者の健康増進事業への支援

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

広畑ふれあいプラザは開設から令和8年で27年が経過しているため、老朽化による設備の不具合や故障が発生している。継続的に修繕や設備の交換を実施し、利用者が安全・安心して活動できるよう管理運営する。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

介護予防に資する高齢者の生きがいがづくり及び健康の増進並びに教養の向上を図るための事業を積極的に展開し、福祉の増

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	01030103
事業 2	080	広畑ふれあいプラザ管理運営費	事業 3	001	広畑ふれあいプラザ管理運営費

進を図ることを目的とする施設の管理運営を行う。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

人件費高騰や施設の老朽化による小規模な修繕費用を計上した一方で、空調設備などの大規模修繕が完了したことにより事業費全体としては減額となった。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

参考見積書のとおり

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

介護予防拠点として重要性が増しているが、老朽化が進んでおり利用者が安心安全に利用できる環境整備を進める。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・ 予算計上額（うち一般財源） 132千円（132千円）
- ・ 内 容 電気料金のうち、再生可能エネルギー由来相当額

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	01030103
事業 2	090	利用者負担等軽減対策事業費	事業 3	001	利用者負担等軽減対策事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 低所得者で生計が困難である者及び生活保護受給者の利用者負担を軽減することにより、介護保険サービスの適切な利用促進を図るため。
- ・内容 低所得者で生計が困難である者及び生活保護受給者について、介護保険サービスの提供等を行う、社会福祉法人等が、その社会的役割に鑑み、利用者負担を軽減する。
在宅サービスの利用の自己負担の助成。
- ・SDGs 1 貧困をなくそう
3 すべての人に健康と福祉を

(2) 効果・目標値

- ・効果 毎年、一定数の被保険者が申請しており、介護保険サービスの利用促進を図ることができている。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 介護保険法、社会福祉法人等による生計困難者等に対する介護保険サービスに係る利用者負担軽減額補助金交付要綱、秦野市介護保険料負担額助成に関する要綱
- ・計画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）: 44千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 207千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）: 207千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）: 継続

3 令和6年度・令和7年度の実績内容[D]

- ・令和6年度 社会福祉法人等による利用者負担軽減制度確認証の発行をした被保険者 8名（延べ11件）
補助金を交付した社会福祉法人 2事業所
利用者負担額助成対象者 0名
- ・令和7年度 社会福祉法人等による利用者負担軽減制度確認証の発行をした被保険者 7名

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

社会福祉法人等による利用者負担軽減制度を利用する者が増えることが見込まれる。

5 令和8年度の実績内容（課題解決への取組等）[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	01030103
事業 2	090	利用者負担等軽減対策事業費	事業 3	001	利用者負担等軽減対策事業費

低所得者で生計が困難である者及び生活保護受給者の利用者負担の軽減を、引き続き行っていく。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

増減なし

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・ 令和4年度 対象者10名、交付額 33,000円
- ・ 令和5年度 対象者9名、交付額 30,000円
- ・ 令和6年度 対象者8名（延べ11件）、交付額 33,000円

本制度の交付額は、同一事業所の利用者に占める（他市被保険者含む）軽減対象者の割合に左右されるため、施設の規模や他市の対象者等も勘案する必要がある。

そのため積算にあたっては、過去に交付を行ったケースを参考にした。

訪問介護 25,000円 * 1事業所
 特養 44,000円 * 1事業所
 特養（生保）88,000円 * 1事業所

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

厚生労働省通知に基づく事業であり、低所得者の負担軽減のため今後も継続して実施する。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	0 1 0 3 0 1 0 3
事業 2	100	介護職員等研修支援補助金	事業 3	001	介護職員等研修支援補助金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 介護職員の人材確保策として、市内介護事業所への就労及び資格取得を支援するため。
- ・内容 介護職員初任者研修を受講し、介護職員として市内の介護事業所に就労した場合に、受講料の一部を補助する。【現金又はOMOTANコインのいずれか選択可】
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
8 働きがいも経済成長も

(2) 効果・目標値

- ・効果 補助により市内介護事業所への就労を促すことができる。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市介護職員初任者研修支援補助金交付要綱
- ・計画 第9期秦野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
総合計画（基本施策122 安心して暮らし続けられる高齢者等への支援の充実）

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）: 82千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 240千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）: 240千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）: 継続

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 介護職員初任者研修を受講し、市内の介護事業所に就労してから6か月経過した者に対し、研修受講料を1件あたり1/3（上限3万円）で補助する。
- ・令和7年度 介護職員初任者研修を受講し、市内の介護事業所に就労してから6か月経過した者に対し、研修受講料を1件あたり1/3（上限3万円）で補助する。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

初任者研修の受講費用を補助することで、市内事業所の介護人材確保を支援しているが、資格取得後の離職もあり得るため、定着率の向上が課題である。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	0 1 0 3 0 1 0 3
事業 2	100	介護職員等研修支援補助金	事業 3	001	介護職員等研修支援補助金

この補助金の交付を受けた介護職員の定職率などの効果検証を行うとともに、今後も、国・県・民間団体などが実施する介護施設等に対する介護人材確保策を参考に、市として必要な介護人材確保策を検討していく。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- (1) 増減理由
該当なし
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

この補助金の交付を受けた介護職員の定職率などの効果検証を行うとともに、今後も、国・県・民間団体などが実施する介護施設等に対する介護人材確保策を参考に、市として必要な介護人材確保策を検討していく。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	0 1 0 3 0 1 0 3
事業 2	110	地域支援事業費	事業 3	001	地域介護予防活動支援事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を続けることができるようにする。
- ・内容 年齢や心身の状況などにより分け隔てられることなく、高齢者にとっては自身の居場所となり、支え手にとっては社会参加や生きがいとなるような活動を地域に創出し、人と人とのつながりを通じて住民同士の絆や支え合いを強めることを目的に介護予防活動を実施する。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 高齢者相互及び地域住民との交流を深めることにより、より積極的な社会参加を促す。また、生きがいを見つけ、健康に生活することによって介護保険利用の軽減につながる。
- ・目標値 令和8年度 地域介護予防活動支援団体 75団体

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 介護予防活動の認定及び補助金交付に関する要綱
- ・計画 第9期秦野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
総合計画（基本施策122 安心して暮らし続けられる高齢者等への支援の充実）

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）: 3,111千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 2,894千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）: 3,189千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）: 継続

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 地域介護予防活動支援補助金制度の支援及び周知
- ・令和7年度 地域介護予防活動支援補助金制度の支援及び周知

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

地域介護予防活動支援補助金交付団体数が「第9期秦野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の目標値に達するよう、地域団体への補助制度の周知を行う。
高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を続けるために、身近な場所での通いの場を充実させる必要がある。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	0 1 0 3 0 1 0 3
事業 2	110	地域支援事業費	事業 3	001	地域介護予防活動支援事業費

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

引き続き、介護予防をより身近な活動にするため、地域の住民が実施しやすく短時間で多くの方ができる「はだのさわやか体操」などを糸口として、介護予防事業を普及し高齢者の孤独感解消や地域での見守りを推進している団体に対しての支援を実施する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

老人クラブ連合会に委託していたふれあい農園事業廃止に伴い、農園に設置されている物置等の撤去処分が必要となったための増額

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

補助団体数及び補助金総額	令和4年度	69団体	2,552千円
	令和5年度	69団体	2,427千円
	令和6年度	71団体	2,546千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

「第9期秦野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」では、地域介護予防活動補助団体数の増加を目標としている。本事業の周知をし、高齢者にとっては居場所となり、支え手にとっては社会参加や生きがいとなるような介護予防活動を地域に創出し、地域全体で介護予防を行うことを目指す。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	0 1 0 3 0 1 0 3
事業 2	110	地域支援事業費	事業 3	002	地域包括支援センター事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 地域住民が住みなれた地域で安心して暮らせるよう、介護保険制度による公的サービスだけでなく、介護保険以外の様々な生活支援サービスを包括的・継続的に提供する。
- ・内容 高齢者の様々な相談を受け付け、必要とするサービスや適切な相談先につなげる。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 令和6年度における高齢者の相談受付件数 96,897件
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 介護保険法、介護保険法施行規則、
秦野市地域高齢者支援センターの人員等に関する基準を定める条例・施行規則、
秦野市介護予防ケアマネジメント事業実施規則
- ・計画 第9期秦野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、
総合計画（基本施策122 安心して暮らし続けられる高齢者等への支援の充実）

2 全体計画[P]

- ・全体計画 高齢者に関わる相談業務、要援護高齢者の実態把握等を実施する
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：245,717千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：251,412千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：252,048千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）：継続

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 高齢者に関わる総合相談業務及び要援護高齢者の実態把握の実施
- ・令和7年度 高齢者に関わる総合相談業務及び要援護高齢者の実態把握の実施

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

高齢者人口の増、多様化する高齢者の課題に対応するため、地域高齢者支援センターの機能強化を行う必要がある。併せて、地域高齢者支援センター職員の定着も推進していく。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	01030103
事業 2	110	地域支援事業費	事業 3	002	地域包括支援センター事業費

高齢者のニーズに適切に対応するため、地域高齢者支援センターの機能・体制強化を図るとともに、関係機関との包括的な支援体制の整備を推進し、地域高齢者支援センターの専門性を最大限発揮できるよう支援する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

地域高齢者支援センター人件費の増額

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

人件費 令和5年度：189,067千円

令和6年度：193,167千円

令和7年度：199,828千円（見込）

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

地域高齢者支援センターの機能・体制強化を図りつつ、業務負担の軽減についても様々な観点から模索する。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	0 1 0 3 0 1 0 3
事業 2	110	地域支援事業費	事業 3	003	生活支援体制整備事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 多様な主体による多様なサービスの提供体制を構築し、高齢者を支える地域の支え合いの体制づくりを推進する。
- ・内容 介護予防・日常生活支援総合事業の実施により、多種多様なサービスが利用可能になることに伴い、多様な主体による多様なサービスの提供体制を構築し、高齢者を支える地域の支え合いの体制づくりを推進する。
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 地域における課題に対して、地域と共に解決策を考えることで、地域の中での支え合いにより解決していく仕組みを構築することができる。
- ・目標値 支え合いのための担い手育成に係る養成研修実施回数
 認定ヘルパー養成研修 1回（令和8年度）
 認定ドライバー養成研修 2回（令和8年度）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 介護保険法
- ・計画 総合計画（基本施策122 安心して暮らし続けられる高齢者等への支援の充実）
 第9期秦野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：32,826千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：32,767千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：32,694千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）：継続

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 第1層協議体研究会において、地域住民による活動への支援及び関係機関の連携の在り方をテーマに検討。
 第2層生活支援コーディネーターの活動の拡充。
 認定ドライバー養成研修を2回、認定ヘルパー研修、介護に関する入門的研修、生活援助従事者研修を1回開催
 運転ボランティアのフォローアップとして認定ドライバー養成研修修了者向けのステップアップ講座を開催。
 インターネット上で一元管理した地域資源情報を一般向けに公開。
 高齢者の就労支援相談窓口委託を開始。合同就労説明会を1回開催。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	0 1 0 3 0 1 0 3
事業 2	110	地域支援事業費	事業 3	003	生活支援体制整備事業費

・令和7年度 第1層協議体研究会において、地域住民による活動への支援及び関係機関の連携の在り方をテーマに検討。
 第2層生活支援コーディネーターの活動の拡充。
 認定ドライバー養成研修を2回、認定ヘルパー研修、生活援助従事者研修を1回開催
 運転ボランティアのフォローアップとして移動支援ボランティア交流会を開催。
 インターネット上で一元管理した地域資源情報の内容の充実、周知を図る。
 高齢者向け合同就労説明会を1回開催。

- 4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]
 地域課題の解決に必要な地域の支え合いを進め、自立した組織にしていけるよう支援する必要がある。
- 5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]
 市域全体の課題について検討する第1層協議体研究会及び第1層協議体の開催。
 第2層生活支援コーディネーターの活動を拡充し、地域に不足する資源開発の実施及び地域資源の周知を行う。
 生活支援の担い手を養成するための研修を開催するとともに、過年度に養成した担い手が活躍できる仕組みづくりを行う。
 高齢者の就労を支援し、地域の活性化を図る。
- 6 要求額の増減理由・根拠[A]
 (1) 増減理由
 フルライフはだのにおいて、企業の求人情報を登録者へ郵送していたが、問い合わせが極めて少なく、提供情報の有用性が相対的に低いと判断したため、郵送費を削減した。（△92千円）
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 令和6年度 250通×年4回送付
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
 地域における支え合いの生活支援サービスの開発に向けた支援を行う。
 第2層生活支援コーディネーターの活動を拡充し、その支援を行う。
 新たな担い手が地域で活躍できる仕組みを検討する。
 高齢者の就労を支援し、地域の活性化を図る。
- 8 その他
 (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 ・ 予算計上額（うち一般財源） 2,640千円（508千円）
 ・ 内 容 地域資源等情報共有システムの運用管理
- (2) 自然災害対策への取組
 該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	0 1 0 3 0 1 0 3
事業 2	110	地域支援事業費	事業 3	003	生活支援体制整備事業費

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	0 1 0 3 0 1 0 3
事業 2	120	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業費	事業 3	001	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 法定計画である高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定を円滑に行うため。
- ・内容 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定及び計画策定に必要な調査・分析を行う。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を

(2) 効果・目標値

- ・効果 適切な計画を策定し、推進することでより良い長寿社会の実現に寄与する。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 介護保険法
- ・計画 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、
総合計画（基本施策122 安心して暮らし続けられる高齢者等への支援の充実）

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）: 0千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 3,982千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）: 2,795千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）: 計画策定とニーズ調査をそれぞれ3年に1度実施

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 該当なし
- ・令和7年度 第10期計画策定に向けた基礎調査を実施

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

中長期的な視野に立った高齢者保健福祉施策や適切な介護給付を実施するための介護保険事業の指針を定めるために必要な事業である。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

第10期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定

6 要求額の増減理由・根拠[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	0 1 0 3 0 1 0 3
事業 2	120	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業費	事業 3	001	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業費

- (1) 増減理由
第10期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定に向けた基礎調査が完了し、計画策定に係る事業経費を積算したところ、減額となったため。
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
令和5年度 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定支援業務委託料支出額 2,805,000円
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
介護保険制度の安定的な運営及び地域包括ケアシステムの深化・推進などを図るため、第10期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定する。
- 8 その他
- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	0 1 0 3 0 1 0 3
事業 2	130	高齢福祉事務費	事業 3	001	高齢福祉事務費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 高齢者福祉事務を円滑に遂行する。
- ・内容 高齢者福祉事務全般に係る経費
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を

(2) 効果・目標値

- ・効果 高齢者福祉事務全般を円滑に実施
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 介護保険法
- ・計画 総合計画（基本施策122 安心して暮らし続けられる高齢者等への支援の充実）、第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：1,350千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：1,409千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：4,022千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）：継続

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の推進、高齢者福祉情報の周知等
- ・令和7年度 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の推進、高齢者福祉情報の周知等

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

高齢者福祉施策を展開するため、情報発信費用などの事業費を継続して計上することが必要である。来庁するより多くの市民への市民サービスの向上に寄与する。【議会】

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の推進、高齢者福祉情報の周知等

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

- ・第10期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定年度であるため、高齢者保健福祉推進委員会

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0130250000	高齢介護課	会計	01	一般会計
款	03	民生費	項	01	社会福祉費
目	03	老人福祉費	事業 1	033	0 1 0 3 0 1 0 3
事業 2	130	高齢福祉事務費	事業 3	001	高齢福祉事務費

の会議開催回数が増えることによる増額

・3年に一度の在宅ひとり暮らし高齢者等登録の一斉調査にかかる経費の増額

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・令和5年度高齢者保健福祉推進委員会 全4回
- ・令和6年度高齢者保健福祉推進委員会 全2回
- ・在宅ひとり暮らし高齢者等一斉調査実施（令和5年）送付数7,159件、新規登録数1,127件、登録率15.7%

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

高齢化の進行により、高齢者保健福祉に関する情報提供の更なる充実が求められるため、高齢者ガイドブックやチラシ等の作成を継続する。

また、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、ひとり暮らし高齢者等登録制度一斉調査による実態把握及び制度周知を定期的に行っていく

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし